

# 第5回

# 酒田市総合計画未来会議 (市民ワークショップ)

～ 酒田の「未来の新聞」をつくってみよう ～

2016年11月19日(土) 13時30分～16時30分

@酒田市勤労者福祉センター 3階多目的ホール

# 開 会



## ○ 10代から70代まで約70人が参加

- ・中学生、高校生、大学生、会社員、公務員、まちづくり団体、経済団体、市内金融機関、主婦、退職された方等、さまざまな背景をお持ちの方々が参加しました。

# 副市長あいさつ



- 今年度、最後の未来会議です。
- まちづくりを「自分事」として考えていただければ幸いです。

# これまでの未来会議の振り返り

## 第1回 = 条件なしに未来を語る

まわりからうらやましがられる未来の酒田市

## 第2回 = 酒田の現状を見つめ直す

もっと伸ばしたい「いいところ（資源）」は何か  
ぜひ解決したい「悪いところ（課題）」は何か

## 第3回 = 選択の時代（縮小社会）の中で 未来を語る「まちづくり シミュレーションゲーム」

## 第4回 = 酒田の現状を見つめ直す part 2

関心のあるテーマごとにグループワーク



# 今日のワークショップのテーマ



未来の酒田市がまわりから  
とてもうらやましがられる  
まちやくらしになっている  
としたら  
その時の新聞にはどんな  
記事が掲載されている  
でしょうか。

○新聞づくりを通じて、  
酒田の未来の「具体的な姿」を語ります。

# ワークショップのルール

- 話すこと以上に「聴く」ことを大切に
- 否定せずに耳を澄ます
- 自分だけが正しいと思わずに、断定しない
- らくがきでメモを残そう

みんなが楽しく語りあえる場にするための大事なルールだのん。



# まずは簡単に自己紹介から



○ひとり1分くらいでテーブルのメンバーに  
自己紹介

# 新聞づくり① これまでのキーワードの振り返り

第1回目から4回目までの未来会議で出たキーワードの傾向を事務局から説明したのん。市のホームページに載っているのでぜひご覧くださいだのん。



※第5回酒田市総合計画未来会議  
(11月19日開催)の様子 配付資料

<http://www.city.sakata.lg.jp/shisei/shisakukeikaku/kikaku/shinkeikaku/miraiikaigi05.html>

## 第1回 参加者から出されたキーワードの傾向

### ① 「人」に関するワードがもっとも多い。

例) 人がイキイキ、若者が元気、世代間で交流がある、人材育成、人と話せる場がある、挑戦する力、酒田を本気で好きな人が多い 等  
⇒「酒田市民が酒田のことを好きになっている」という視点は特徴的

### ② 酒田の食、自然、景観の良さ

例) おいしくて安全な「食」、鳥海山・夕日・海などがきれい、自然が豊かで食べ物おいしい  
⇒中には、「実は酒田には何でもある！」という意見も

**これらの良さ(資源)を「PR・発信」すべきという声も多かった。**

○まずは、これまでの未来会議で、どのようなキーワードが出てきていたかを振り返ります。



# 新聞づくり② 進め方の説明～個人ワーク



○記事にしたいテーマを一人3つずつふせんに書き出します。

# 新聞づくり③ 編集会議



○どのテーマをどんな記事にしていくか、  
グループで話し合います。

# 新聞づくり④ 記事の作成



○記事を作ります。写真は、過去の市広報や観光パンフレットから切り取りました。

# 全体共有



○他のテーブルの新聞をみんなで見回り、「いいね」と思った記事にシールを貼ります。

# 最後の問いかけ

酒田の未来のためにあなたは何をしたいですか



○それぞれの想いを書いて、撮影しました。

# 事務局から

○今年度の未来会議はこれで終了です。  
ご参加、本当にありがとうございました。

★予告（予定）★

平成29年 3月25日（土曜）

未来会議 **番外編** 会場：未定

- ・基本構想案および市民意見の反映状況の報告
- ・みんなで（軽食）大反省会

